

第26回名護市意見発表会



羽地中学校
学校だより 110号
せいりゅうおおかわ
H30.10.22

「豊年祭に出たい。」去年の夏、僕は決意しました。
僕の住んでいる地域は豊年祭が盛んです。特に僕が出るようになった獅子舞は、国の無形文化財に指定されている操り獅子の前に披露される大事な演舞です。その中の獅子を鈴で誘導するワクチャーという少年の役をやることになったのです。
僕が豊年祭に出たいと思った理由は二つあります。一つ目は、父も豊年祭に出ていて、同じ舞台上立つことが、幼い頃からの夢だったからで



す。二つ目は、僕がやることになったワクチャーという役は、出番は短いものの格好いいと思っていました。だから、区長さんと呼ばれ、「やりたい人？」と聞かれた時、「出たい。」とすぐに返事をしました。しかし、いざ練習が始まると、大変でした。一か月以上、ほぼ毎日二時間の練習が続きま

を担任している青年会の人や他の演舞の人達も、真剣に集中して練習していたので、僕も頑張りま

初舞台はともワクワクした時間でした。なぜ、こんなにも楽しかったのか。それは、豊年祭という地域の行事に参加することによって人ととのつながりを感じたからです。初めて舞台上立つ僕にアドバイスしてくれた人、一緒に練習につきあってくれた人、飲み物を準備する等サポートしてくれた人、応援してくれた人、楽しそうに見てくれた人。いろいろな人が、それぞれの立場でできることをして豊年祭を支える。いろいろな人がつながることで豊年祭が成功しているのだと思います。

豊年祭に出る楽しかった、また出たい、そう思えたのは、豊年祭を通して多くの人とつながることができたからです。豊年祭に参加した後、僕は、地域の行事に積極的に参加するようにしています。運動会やグラ

地域の宝を継ぐ

1年生

僕は、この世代を超えた交流を楽しみにしています。しかし、最近、地域行事へ参加する人が減っているという話を聞いたことがあります。過疎化・高齢化・少子化、理由は様々あるようです。実際、僕の住んでいる地域の豊年祭も演じる人が少なくなり、途絶えたり、隔年おきの実施したりした時代もあったようです。
僕は、豊年祭がなくなることは嫌です。毎年出るのを楽しみにしている人、見るのを心待ちにしている人達がいるからです。
父は、仕事が忙しくて地域行事に

参加します。祖母も豊年祭で踊りを教えています。なぜ地域行事に協力するのか家族に尋ねたところ、「地域行事に参加することで、自分の周りにどのような子どもや大人がいるかを知ることができ、何かあった時に助け合える体制が作れる。自分が協力することで、地域の輪が広がることができる。」と話してくれました。地域行事を通して人と人とのつながる、世代を越えた交流を通して、過去や未来とつながる。人と人とのつながりこそが、地域の宝なのだと思います。祖母や父が大切にしてくれた地域のひとと人のつながりを、今度は僕が受け継いでいきます。

ドゴルフ大会。地域のみんなで海岸のゴミ拾いなど、ボランティア活動もしました。豊年祭と一緒に練習した人、祖母の友達、高校生、小学生、普段はなかなか話す機会がない人達ともおしゃべりします。野球の話、台風の話、戦争の話、話題は様々です。



3年1組合唱練習

